

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	健康寿命延伸のための食環境整備に関わる高度人材養成プログラム														
実 施 方 法	① 通学 (昼間・ 夜間 ・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)														
指 定 講 座 番 号	6	1	0	4	2	—	1	8	1	0	0	1	—		8
講 座 の 創 設 年 月 日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 平成28年 9月 3日					過 去 一 年 の 講 座 実 績		入講者数(13人)				修了者数(12人)			
訓 練 期 間	6ヶ月							総 訓 練 時 間				135時間			
1. 教育訓練目標															
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						☐ 業務独占資格・名称独占資格 () ☐ 職業実践専門課程 () ☐ 専門職学位 () ☒ 職業実践力育成プログラム (保健分野) ☐ 情報通信技術関係資格 () ☐ 第四次産業革命スキル習得講座 ()									
						教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等									
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						女子栄養大学									
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						開講する11科目(135時間)を受講して合格し、さらに総括レポートを提出して合格すること。									
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						健康寿命の延伸に係る健康的な食物・食事の提供、及びそれらを有効に活用するための健康・栄養情報の提供に関わる職務。業界としては管理栄養士・栄養士のほか、該当分野(食品企業等)の総合職、行政職、他の技術職等を想定しており、修了者の多くは食品企業で活躍している。									
2. 教育訓練の内容															
教 科 (カリキュラム)								時 間				使用教材名			
健康・栄養政策の動向と食環境整備								11.25時間							
食事摂取基準とフレイル								11.25時間							
各種生活習慣病の予防・治療のガイドライン								11.25時間							
高齢期栄養学								11.25時間							
食事アセスメントと食事計画								11.25時間							
フードシステム学								11.25時間							
経営戦略・組織管理論								11.25時間							
データサイエンス入門								11.25時間							
企業における健康経営論								11.25時間							
フードサービスにおけるマネジメント								11.25時間							
実践栄養学専門演習(多職域合同ワークショップ)								22.5時間							
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)															
①受講するに当たって必要な実務経験等						特になし。									
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						大学学士課程卒業程度の学力。									
③その他						特になし。									

〔 特 記 事 項 〕

特になし。

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	12	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	13	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	—	人	受験率(③/②)	—	%
④ ③のうち合格者数	—	人	合格率(④/③)	—	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	6	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	46.2	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		7	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	3	人	②A: 就業者計	6
	2 非正社員、派遣社員	3	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	1	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	6
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 円滑な転職に役立つ	1	人		
	5 趣味・教養に役立つ	4	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	1	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	3	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	7
	2 おおむね満足	2	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

受講時に非就業(大学院生)であった者は継続して大学院に在学中である。受講修了者による本プログラムの評価は、社内外の評価が高まり、円滑な転職に役立つ、全体として満足との回答が多くあった。

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法

授業への参加態度、発言・意見表明の積極性、発表、レポート・試験等の評価基準を、科目内容に応じ組み合わせて測定する。

(通信制講座の場合)
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法					
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)		各科目のシラバスに定める評価方法で基準に達した場合、当該科目における合格とする。			
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法		科目によってミニレポートや中間試験を課して、受講者の理解度を確認している。その他、グループ発表や討論等の過程で、適宜助言を与えている。			
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)		全11科目(135時間)を受講して合格し、さらに総括レポートを提出して合格すること。			
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法		授業への参加態度、発言・意見表明の積極性、発表、レポート・試験等の評価基準を、科目内容に応じ組み合わせて測定する。			
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法					
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		授業の終了後に質問に対応するほか、本学の専任教員についてはオフィスアワーを設け、随時助言を与えられる体制を整えている。			
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		受講者の求めに応じ、就職課において求人情報の提供に努めている。			
8. その他の事項					
指定教育訓練実施者名及び代表者名		学校法人 香川栄養学園 (代表者名： 理事長 香川明夫)			
住所及び連絡先		東京都豊島区駒込3-24-3 TEL 03-3576-3235			
施設名称及び施設長名		女子栄養大学大学院 (施設長： 学長 香川明夫)			
住所及び連絡先		埼玉県坂戸市千代田3-9-21 TEL 049-284- 3867			
苦情受付者	氏名 熊沢孝仁 所属 大学院教務課	事務担当者	氏名 渡部修司 所属 学長事務課		
連絡先	TEL 049-282-3601	連絡先	TEL 03-3576-3235		
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 180,000 円				
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		30,000 円		
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		150,000 円		
			第1期 150,000 円		
			第2期 0 円		
			第3期 0 円		
① 一括払			第4期 0 円		
② 分割払			第5期 0 円		
③ 両方可能			第6期 0 円		
			(うち、必須教材費 0 円)		
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円				
	① 任意の教材費(税込額)		0 円		
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円		
	③ 施設維持費(税込額)		0 円		
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		0 円		
	3. 総額 (1+2) (税込額) 0 円				